

2020年度

地域貢献研究事業

テーマ募集のご案内

地域貢献研究とは？

「徳山大学地域貢献研究」は、徳山大学の持つ研究・教育機能を積極的に活用することで、周南地域をはじめとする山口県内諸地域の課題解決や教育力の向上に貢献することを目的とします。住民、NPO、企業、行政だけでは解決が困難な地域の課題に対して徳山大学の教員がもつ専門知識等を活かして、有用な情報やノウハウを提供します。また、小中学校や高等学校と協力してより良い事業を創造するお手伝いをします。皆様からの多数のご提案をお待ちしております。

募集締切 2020年6月30日(火)必着

対象となる研究

地域振興

地域団体等が抱える
地域課題の解決の
ための研究

産業振興

既存産業の再生や
新産業の創造に
関する研究

学校教育

小学校・中学校・高
等学校における教育
活動に関する研究

今までに実施された研究例

子どもたちが地域環境に興味を持ち、また災害時において適切な行動をとれる子どもたちを育成したい！というご提案に…

海洋スポーツ体験教室の教育的効果

下松市におけるホストタウン事業を基点にした国際交流の方向性と課題-「おもてなしプラン」-

下松市が東京五輪のホストタウン登録を受け、おもてなしについて研究してほしい！というご提案に…

制限された場所での「運動遊び」の紹介と動的ストレッチを内容とする体操の考案をお願いしたいというご提案に…

〈学校教育版〉体育館改修工事に伴う小学生の運動有能感について

問合せ先

徳山大学 地域共創センター (TU-RCC)

〒745-8566 周南市学園台 TEL : 0834-28-5395

E-mail : tu_rcc01@tokuyama-u.ac.jp

2020年度 徳山大学地域貢献研究事業 研究テーマ募集要項

【募集内容】

- 地域の皆さんから、徳山大学の教員に研究してもらいたいテーマと共同で授業改善に取り組みたい内容を募集します。
- ご提案研究テーマ等は次の3種類です。
 - ①地域団体等が抱える地域課題の解決に資する研究（地域振興）
 - ②既存産業の再生や新産業の創造に関する研究（産業振興）
 - ③小学校・中学校および高等学校における教育活動に関する研究（学校教育）
- ご提案いただけるのは、次の方々です。
 - ◆山口県に在住または在勤の住民、NPO、行政、教育機関等（個人・団体の別は問いません）
 - ◆研究を行う段階で、本学教員の研究に協力していただける方
- 提案に当たって、本学教員の専門分野や研究実績を参考にしてください。

<地域課題の解決に役立つ研究シーズ一覧 >
http://www.tokuyama-u.ac.jp/local/local_prgm/education_and_research_seeds/
<教員紹介ページ>
http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/teacher_info/

【ご提案の方法】

- ◆所定の申込書（別紙）で申し込んでください。
- ◆申込書の様式は、表面のQRコードからダウンロードできます。
- ◆一申請者が複数のテーマを提案する場合は、テーマごとに別の申込書にご記入ください。
- ◆申込書は、**2020年6月30日（火）（必着）**までに電子メールまたは郵送で徳山大学地域共創センターまでご提出ください。

◆提出先：徳山大学地域共創センター◆
〒745-8566 山口県周南市学園台
TEL : 0834(28)5395
E-mail : tu_rcc01@tokuyama-u.ac.jp

【募集後の事業の流れ】

ステップⅠ 研究プロジェクトの学内公募

- 地域の皆さんからご提案いただいた研究テーマを学内に公表し、徳山大学の教員から「研究プロジェクト」を募集します。
- 「研究プロジェクト」は、次の3種類あります。
 - ◆提案されたテーマをそのまま採用
 - ◆提案された複数のテーマを統合した研究
 - ◆提案されたテーマを発展・深化させた研究
- 応募された研究プロジェクトは、徳山大学地域共創センター内で審査し、予算（30万円）の範囲内で3件程度を採択します。
- 「研究プロジェクト」の審査基準は、以下の5項目とします。
 - ◆地域の方から提案されたテーマとの整合性
 - ◆研究テーマおよび研究方法の新規性
 - ◆研究の実現可能性
 - ◆研究費用の妥当性
 - ◆提案団体との協力体制
- 「研究プロジェクト」の学内応募は7月10日〆切、「研究プロジェクト」の審査・決定は7月中旬を予定します。

ステップⅡ 研究プロジェクトの実施

- 採択された「研究プロジェクト」は、2020年度内において、徳山大学の担当教員が研究を行います。
- 研究は、提案された地域の方と緊密な連携をとりながら実施します。

ステップⅢ 研究成果の報告・還元

- 2021年2月(予定)に中間報告会を実施します。
- 研究成果は研究担当者が論文にまとめ、『徳山大学総合研究所紀要』（2021年度発行予定）他に投稿します。
- 研究成果（論文）が掲載された『徳山大学総合研究所紀要』等は、学内外に公開するほか、研究テーマを応募した地域の方々に贈呈いたします。

*ご不明な点などございましたら、徳山大学地域共創センターまでお気軽にお尋ねください。